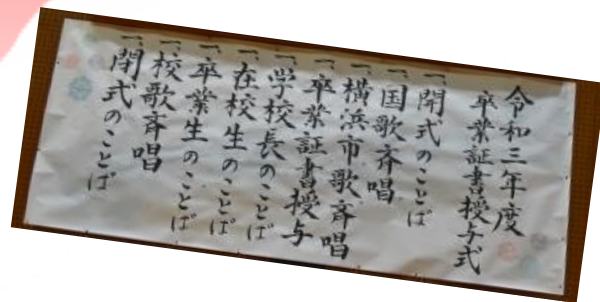


# 18期卒業証書授与式



## 今後も自分らしく活躍されることを願っています

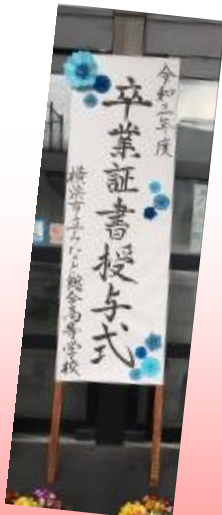
3月3日に18期の卒業証書授与式を挙行し、219名の生徒がみなと総合から巣立ちました。

卒業生代表のことばでは、みなと総合で学んだこととして「自分らしさと相手らしさの尊重の大切さ」が挙げられました。「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」を通し、さまざまな意見を聞く中で自分の中にそれまでにはなかった価値観や経験を得たり、自分の意見を伝えることで新たな考えが生まれたりしたエピソードが披露され、そうした活動から得られた力をこれからの社会でも生かしていきたいという決意が述べられました。

新型コロナウイルス感染症の影響により学校生活では我慢を強いられる場面が多かった18期生ですが、工夫して学校行事を開催し、日々の生活の中でそれぞれができることを見つけ楽しもうとする姿勢が見られました。今後もめまぐるしく変わる社会の中で、しなやかに、優しさを持ち、自分らしさと相手らしさを尊重し活躍していってくれることを願っています。



立て看板や式次第は「書道研究」の卒業制作として卒業生により作成されました。



3年次生を送る会や卒業式への在校生の参加が見送られたため、廊下のバルーン装飾と在校生や教職員のメッセージにより作られたみなとまるが在校生から卒業生に贈られました。

卒業生の夢が叶うよう応援しています。

